

ANNUAL REPORT 2013

2014年1月期 アニュアルレポート



目次

社長挨拶	_____	3ページ
財務ハイライト	_____	4ページ
事業概況	_____	6ページ
組織図	_____	9ページ
企業活動(CSR)	_____	10ページ
会社概要・沿革	_____	15ページ

 株式会社 白崎コーポレーション



経営理念

自然と人間が、いっしょに幸せになる仕事



社会・経済構造が劇的な変化を遂げ、確たる指標なき時代、企業は自身の哲学を掲げることによって自らの道を切り拓かねばなりません。哲学のない企業に未来を創造することはできない。

—— 私どもが自ら質すなかで出した答えは

「自然と人間(みんな)がいっしょに幸せになる仕事」というキーワードです。

ここにはく地球環境・お客様・ビジネスパートナー・社員とその家族・株主〉という5つのステークホルダーとの共存共栄が謳われています。この5つのステークホルダーとの共存による「幸せの輪」の創造こそ、私どもが目指す企業像です。

たとえば、どんなに企業の利潤が上がっても、その事業が地球の環境破壊を引き起こしていたり、社会倫理に反していたりしたら、その企業は優良と呼べるでしょうか。そこに働く社員や家族は幸福と言えるでしょうか。ひとりひとりの社員が、自分の仕事がお客様に喜んでいただける、社会に貢献していることを実感できてはじめて自らの仕事に誇りと責任感を持つことができます。そして、その責任感はビジネスパートナーとの相互信頼を育み、共に成長しお互いの事業の成功と発展にもつなげられるのです。さらに事業の成功は利潤を生み、株主の皆様にもご満足いただくことができると考えます。

白崎コーポレーションはこの「幸せの輪」の実現に向けて、ここに掲げた経営理念をすべての企業活動の礎とするべく胸に刻み込み、社会から尊敬される企業となれるよう、そしてトップを含め社員みんなが夢を語り合える企業となれるよう、今後も自らを厳しく律しながら挑戦を続けてまいります。



経営方針

- 一、 私たちはいつも環境に心を配り、地球の繁栄につくしていきます。
- 一、 私たちは顧客満足度の向上に努め、お客様の信用をたかめていきます。
- 一、 私たちはビジネスパートナーと共に歩み、確かな信頼関係を築いていきます。
- 一、 私たちは日々の仕事を通して自己を高め、豊かな未来をつくっていきます。
- 一、 私たちは適正な利潤を追求し、株主のみなさまの期待に応えていきます。



ミッション・ビジョン

- ・ミッション 私たちは事業を通じて社会に貢献できる人を育てます。
- ・ビジョン 全社員が自分の会社に誇りを持てるような最高の中小企業になります。



社長挨拶

「3年計画から7年計画へ」



代表取締役社長 白崎 弘隆

2013年はヨーロッパの金融不安や中国経済の減速のなか世界経済は非常に不安定な1年でしたが、日本においてはアベノミクスで公共事業が増えたことや円安効果もあり、若干の景気回復が感じられた1年でした。

当社において、グリーンナップ事業部は前年度に減少していた公共事業が回復してきたこともあり、売上高については若干回復してきました。しかし、長期的に見た新規事業への投資や縮小した事業からの人員を吸収するための経費の負担もあり、一昨年よりは利益率を落とす結果になりました。しかしながら、最近グリーンナップ事業部に加入した社員が徐々に戦力として育ってきたことや、昨年から力を入れてきた太陽光発電所の防草対策が実際に雑草の生い茂る夏場を体験した後の秋ごろから大きく動き出していることにより、今期以降大きな躍進につながるものと期待しています。サプライビジネス事業部については、ますます価格競争が激烈になる中で、信頼性を重視していただける白崎ファンを開拓する努力の結果、経常利益については予想以上の結果を残すことができました。しかしながら、リユースナーカートリッジの売上本数は毎年減少を続けていて、リユースナーカートリッジ以外の商品の開発が必要となっています。全社的にみると、自社保有の太陽光発電所の特別償却 1.9億円があり、最終利益はマイナスになっていますが、それを除けば十分に利益を確保することができました。また、総資産を圧縮してきたこともあり自己資本比率が50%を超えるようになっています。

このような状況の中で、社員や関係する人たちが当社の将来の道筋をより理解しやすくするために、今までの3年計画を7年計画に変更しました。グリーンナップ事業部は毎年15%成長で7年後約35億円の売り上げを目標にし、サプライビジネス事業部ではリユースナーカートリッジの減少分をその他の商材でカバーし売上高と利益を確保するという目標を立て、7年後には全社計画として売上高58億円を目指す計画を立てました。全社員で力を合わせこの目標を達成できるように努力していきます。



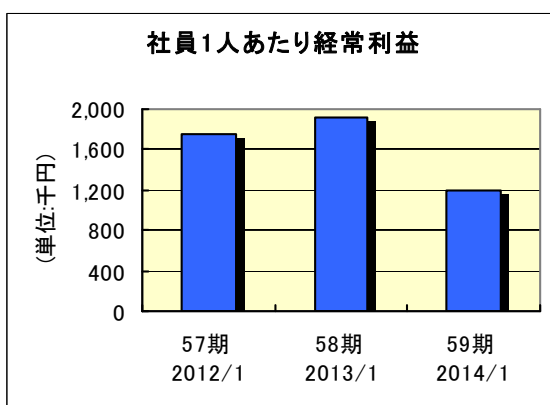
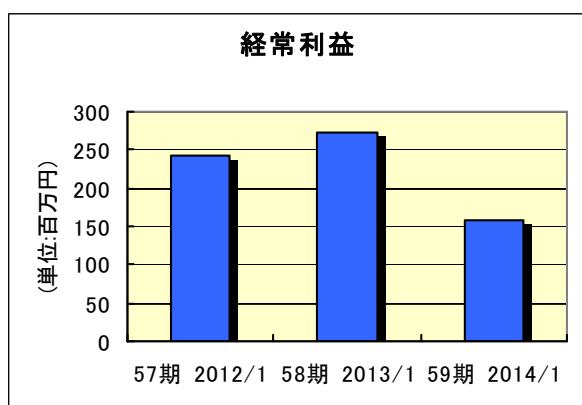
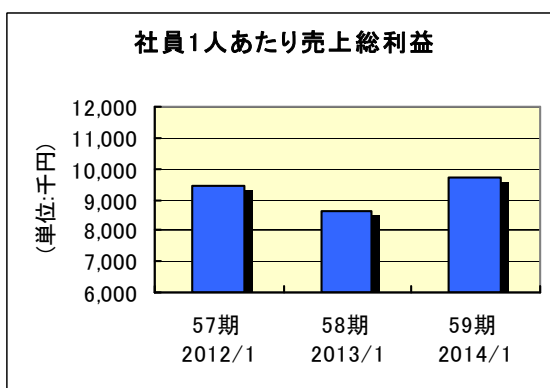
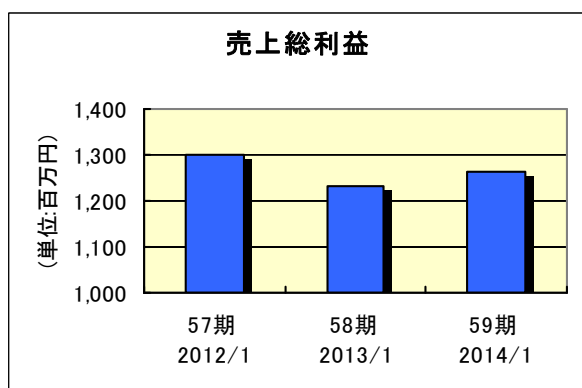
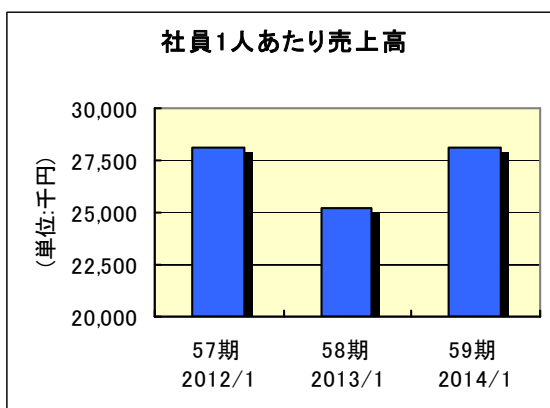
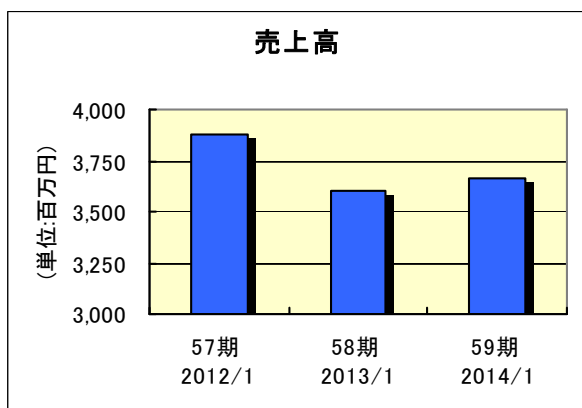
財務ハイライト

		(連結)		(連結)		(単独)	
	単位	57期	2012/1	58期	2013/1	59期	2014/1
売上高	千円	3,875,959		3,600,565		3,658,731	
売上総利益	千円	1,301,186		1,229,518		1,263,496	
売上総利益率	%	33.6%		34.1%		34.5%	
経常利益	千円	243,151		274,493		156,683	
経常利益率	%	6.3%		7.6%		4.3%	
総資産	千円	2,412,741		2,371,703		2,314,204	
自己資本	千円	1,226,990		1,266,396		1,217,677	
自己資本比率	%	50.9%		53.4%		52.6%	
総資産経常利益率	%	10.1%		11.6%		6.8%	

2012年1月期から2014年1月期までの白崎コーポレーションの単独決算の数値を掲載しております。

2014年1月期の売上高は36億5,873万円と前期比1.6%の増収となりました。リユーストナーカートリッジやその他事務用消耗品の販売を行うサプライビジネス事業につきましては、ターゲットを絞った営業活動や、小売店向けのPOP広告媒体「宣電部長」の発売開始など拡販活動に努めましたが、減収となりました。それに対して、防草シートや緑化資材の販売を行うグリーンナップ事業につきましては、国土交通省を中心に公共事業関係の受注が増加し、さらに太陽光発電施設の雑草管理という新しい市場開拓にも取り組むことができ、増収となりました。一方、利益面では、効率改善によるコストダウン、経費削減により、1億5,668万円の経常利益を残すことができました。

次期につきましては、新規市場開拓と、特徴ある付加価値の高い製品の開発に注力するとともに、業務集約による効率化や、経営資源の再配分を推進し、更なる経営体質改善に取り組んでまいります。





事業概況

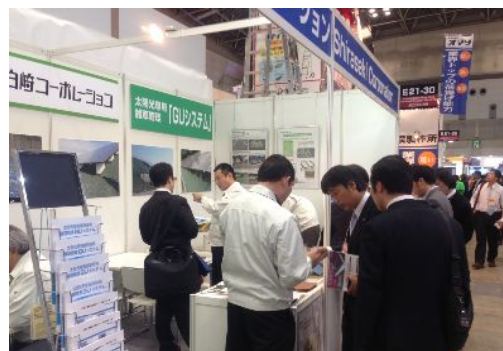
■グリーンナップ事業部

取締役グリーンナップ事業部長 中川 豪

- ・ミッション お客様のニーズに合った最適な緑地雑草管理を提供します。
- ・ビジョン 全国で緑地雑草管理のトータルサポートを提供する企業を目指します。

グリーンナップ事業部の2013年度は、公共事業の活性化に伴う受注増加と全国で建設されている太陽光発電所内の雑草対策のニーズが拡大し、その新市場への取り組みが順調に推移し、事業部として成長を実感できた1年でした。

特に太陽光発電所向けの販売戦略は、専門の販売部門を設立し、まず上期は市場調査から顕在している問題の整理と、潜在している問題の喚起を中心に行ってきました。ホームページや情報誌、新聞記事、太陽光展示会など、様々な媒体を情報収集、情報発信に活用し、事業主との対話を中心に太陽光発電施設専用「雑草管理 GU システム」のスキームを構築していきました。「雑草管理 GU システム」とは、現場診断技術→施工技術→メンテナンス技術の3つの独自技術で形成された、20年間に渡る雑草管理の軽減を実現するシステムです。当初この市場においては、「自然」「環境」「緑地」「雑草」これらのキーワードに無関係の業種業態の企業様も多く参入されており、発電所内の雑草繁茂が経済的のみならず環境的、社会的に及ぼす影響の大きさを理解して頂けない壁みたいなものがありました。しかし、春から夏秋にかけて実際に雑草問題を体験されることで、この「雑草管理 GU システム」の価値に共感して下さるお客様が増えたと実感しています。今後この市場はますます成長する可能性を感じているところです。



グリーンナップ事業部は、公共事業や太陽光など市場の成長を追い風に活動するなか、一方では内部で認識している課題を一つ一つ解決することで、更なる飛躍を目指さなければいけません。今までのシート関連の販売で、シェアや売上を拡大してきた成熟エリアでの新商品・サービスの提案活動、前期から本格活動している水路目地補修やグラスパーキング、屋上緑化の販売強化は代表する課題と認識しています。特に水路目地補修に関しては現在ではまだまだ地域を絞り小規模展開ですが、年を追うごとに技術的レベルも向上していますし、お客様のニーズも増えていると感じています。この事業も近い将来には全国で同じサービスを提供できるように体制を構築する必要があります。雑草は地域問題ですが、この水路劣化(水漏れ)も地域問題で、結局共通していることは営業マン(会社)が地域の方々と密着し、その地域の特有の問題を、その状況に合わせて解決して行くビジネススタイルが最も大切であるということです。

この点、グリーンナップ事業部の今期のビジョンは「全国で緑地雑草管理のトータルサポートを提供できる企業を目指します」、ミッションは「お客様のニーズに合った最適な緑地雑草管理を提供します」になりました。このビジョン・ミッションの実現のために、専門会社としての営業基盤作りを再度見直し、営業マンの増員、また従来の営業マンの配置転換を行い、市場やお客様にきめ細やかな対応が出来るような組織編成を行いました。見方によっては戦略的に非効率、ローテクですが、このビジネススタイルこそが競合との差別化になり、お客様から一番信頼され、お客様から一番最初に相談される相手(会社)になることがグリーンナップ事業部の目指す姿です。2014年もこの現場主義や顧客主体で、部員一丸となって事業活動に取り組みたいと考えます。

■ サプライビジネス事業部

取締役サプライビジネス事業部長 相澤 英昭

- ・ミッション 私たちは印字環境に関わるお客様の課題を追究し、
満足・信頼いただける製品・サービスを提供します。
- ・ビジョン 私たちは、製品・サービスを通じて、印字環境に関わるコンサルタント企業を目指します。

2013年は、2012年12月の政権交代による財政・金融緩和政策への期待から円安・株高が進み、輸出企業を中心に収益改善が見られますが、一方で運送費の値上げや円安による原材料の高騰など事業活動にマイナスの影響も発生してきており、景気回復の波が地方経済や中小企業にまで届くのはいましばらく時間がかかるように思われます。業績につきましては、数年前から手がけてきた新規市場開拓が功を奏し、引き続き良い結果を残すことができました。

サプライビジネス事業部は今期よりビジョンを変更しました。以前のビジョンは「私たちは印字環境に関わるコストダウンのためのコンサルタント企業を目指します」だったのですが、今回の変更点として「コストダウンのための」という文言をなくしました。これは、当社のリユーストナーカートリッジを使用してもらうことでお客様のコストダウンに貢献するだけでなく、コストダウン以外でも印字環境全般においてお客様が困っている課題の抽出と、解決策の提案を出来る企業になっていきたいとの思いを込めて変更しております。

現在のリユーストナーカートリッジ市場は、伸びが鈍化していることで同業者間でのお客様の取り合いが増えており、結果として価格競争が激化しています。また、海外から流入してくる模倣品やコンパチ品と言われる違法性の高い製品(リユーストナーカートリッジとは異なり全てのパーツを新たに製造して組み立てた製品)が増えてきていることも価格競争を助長する一因となっています。品質やサービスを犠牲にした価格競争を続けることは、長い目で見た場合リユーストナーカートリッジ業界にとって好ましいことではありません。そのため、当社が所属する日本カートリッジリサイクル工業会(AJCR)では、2011年より「E&Qマーク規格」を制定し、品質面や環境面の基準を満たした製品にE&Qマークラベルを表示するという活動に取り組んでおります。



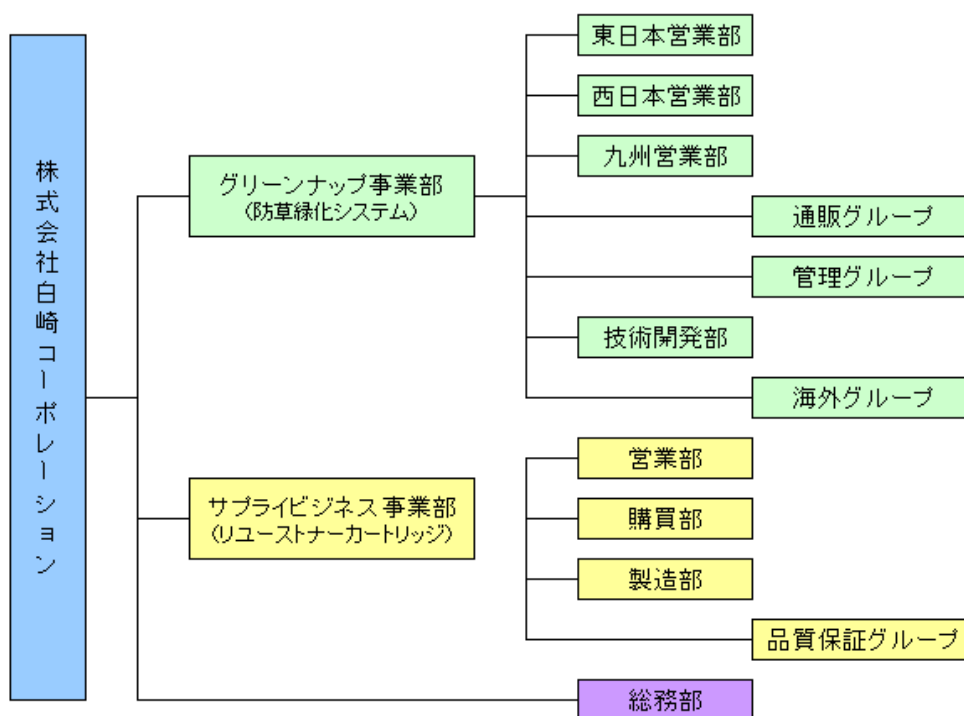
当事業部では、業界でもトップレベルの品質とサービスという自分たちの強みを生かし、一般のオフィス用途とは異なる特別な印刷を行っているために通常のリユーストナーカートリッジでは品質面・サービス面で問題が発生してしまう可能性が高いお客様に、安心してリユーストナーカートリッジをご使用頂けるような取り組みを強化してきました。そのためにはお客様との信頼関係を構築し、その上で使用環境や出力原稿、使用頻度など様々な観点から当社のリユーストナーカートリッジで問題が発生しないかを検証したのち、ご納得頂いた上でご使用頂くという流れを大切にしています。今後はこのような取り組みをより強化していくことで、将来的にはお客様の印字環境全般の診断を行い、課題の抽出と解決策の提案が出来るようなプロフェッショナル集団(コンサルタント企業)を目指していきたいと考えています。

また、リユースナーカートリッジ以外でもお客様の印字環境に関する問題点を解決するため、2013年には手書きPOPと電子POPを組み合わせた当社オリジナルの新商材「宣電部長」をリリースし、お客様からご好評をいただいております。今後も更に商材を増やし、お客様の様々なご期待・ご要望に応えられるように日々進化していきたいと思っています。

今後市場環境はより一層厳しくなると予測されますが、社員一同頑張っていきます。



組織図





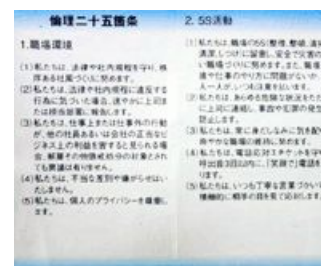
CSR(企業活動)

先進国では社会が豊かになるに従い、経済成長以外のさまざまな価値観が生まれ、企業評価の指標として、法律や制度で定められた範囲を超えて「よりよい行動」をすることを望ましいとする傾向が生まれています。白崎コーポレーションでは、経営理念、経営方針として、企業活動をめぐる5つのステークホルダー(地球環境・お客様・ビジネスパートナー・社員とその家族・株主)との共存共栄を、また、ミッションとして、社会に貢献できる人財育成を掲げて、CSR活動体制の整備と強化を行っています。企業に求められる社会的責任の内容は、時代とともに変化していきます。積極的な働きかけにより地域社会の抱えている問題を十分認識したうえで、事業を通じて蓄積したノウハウや能力を社会に還元し、問題解決に貢献していくことが、地域社会からの信頼につながるものと考えています。

【1】 法令及び企業倫理の遵守

■ 企業倫理

白崎コーポレーションでは2001年に企業倫理の徹底を図るため「倫理25か条(職場環境、5S活動、環境、営業・業務活動、会社資産の保護)」を策定し、社員全員が「経営理念」「経営方針」といっしょに毎朝の朝礼で唱和をすることにより、理解の徹底から実行を図っています。



■ お客様情報及び個人情報の管理

社内の情報管理につきましては、以下の5つのセキュリティールを定め、情報管理研修を実施するとともに全社員から誓約書を徴収し、情報漏洩の未然防止を図っています。

1. パソコンの利用に関するセキュリティール
2. 外部媒体の利用に関するセキュリティール
3. メール利用に関するセキュリティール
4. インターネット利用に関するセキュリティール
5. 白崎ネット(当社グループウェアシステム)へのアクセスに関するセキュリティール

また、特に個人情報の取扱いにつきましては、その取得から利用、開示、利用停止、消去に至る詳細な運用ルールを定め、個人情報の保護に努めております。

【2】社会性報告

1. 社員とともに

白崎コーポレーションの使命は、「事業を通じて社会に貢献できる人を育てる」ことにあると考えています。また、「社員は財産(人財)」と考えています。そのため、社員が安心して働ける環境を整え、自ら考え、学び、行動できるよう様々な制度や仕組みを作り社会に貢献できる人づくりを推進しています。

■ 新卒採用～若いフレッシュな感覚に期待～

白崎コーポレーションは、2007年から新たに採用戦略を構築し、新卒採用活動を積極的に推進しています。若手社員をリクルーターに選抜し、彼らを中心に会社説明会や面談等を運営しています。2014年4月には3名の有望な人財を採用することができました。

■ 社員教育

白崎コーポレーションは、「社員の能力開発と挑戦する組織風土」を目指して、2005年度に教育体系をOJT・集合研修・自己啓発を三本柱として再編成を行い、2006年度より本格的な社員教育を実施しています。社員教育の基本は、職場における指導・育成すなわち「OJT」にあります。OJTでは補い切れない能力開発の場として階層別やテーマ別の社内研修を推進しています。また、通信教育受講補助や社外研修等への参加・経費補助も実施しており、社員の積極的な自己啓発の取り組みを支援しています。

■ ビジネスキャリア検定試験と公的資格～専門能力と管理能力～

自己啓発の動機付けと、取得能力を評価、測定するツールとして、「ビジネスキャリア検定試験」の受験を推奨しており、春と秋に実施される試験には毎年多くの社員が受験しております。合格者を社内の掲示板に掲載し、昇格試験にも活用しています。たとえば、管理職者であれば、職務分野2級1科目以上及び共通分野(労務管理、経営戦略など)3級1科目以上の合格が必須となっており、専門能力と管理能力の両面の自己啓発が要求されます。また、それ以外に、業務に関連した公的資格へ挑戦も奨励し、難易度に応じてビジネスキャリア検定合格と同等の評価をしています。

■ 目標管理制度～目標は自分で考え、決めて、実行～

「目標管理制度」は、社員一人ひとりが会社や部門の目標をもとに、上司との話し合いを通じて自分の仕事の目標を立てて計画的に取り組み、上期・下期の年2回達成度合を評価する制度です。目標は上司から与えられるものではなく、まず自らが考えて、上司との個人面談を通して十分に話し合っ

て決めることになっており、社員の自発的な行動を促す仕組みとなっています。

■褒める社風の定着～社員表彰制度～

会社や社会に貢献した社員をみんなで褒め称えるよう、以下の5種類の表彰について規程および実施要領を制定し、広く社内に公開しています。

1. 永年勤続表彰
2. 白崎MVP
3. 改善提案大賞
4. 改善提案報奨
5. 5S大賞

特に、白崎MVPは2001年から続いており、社員相互での推薦の中から選抜され、推薦されたものすべてが公開されます。ボランティア活動や、他部門との連携・協力など、自分の業務以外の功績による推薦や受賞も多数見受けられます。



2. 地域社会とともに

白崎コーポレーションは、企業も社会の一員であると考え、積極的な社会貢献活動に取り組むことにより社員の社会貢献意識を高めています。さまざまな活動を通じて地域の方々との交流を図り、地域社会と共に成長していきたいと考えています。

■環境教室

地元の小学生を工場見学に招待し、最初にリサイクルや環境保護に関する説明を当社の事例を挙げながらセミナー形式で行い、その後で工場の製造現場に入って実際に物づくりの作業を見てもらうというものです。小学5年生児童の環境に関する課外活動として学校単位で参加していただき、2010年度は2校に参加いただきました。工場内に子供達の元気な声が満ち溢れ、また積極的な質問が次々に出てきて環境への関心の高さに驚かされました。環境教室を通じて子供達の環境を大切にしたいという想いを高めていくお手伝いができればと考えています。

■ NPO法人への支援

NPO法人「緑地雑草科学研究所」は、人々の生活圏の緑地環境を創り向上させることを目的として設立されました。そのNPO法人を支援することにより、適切な雑草の制御技術や利用技術の確立と普及活動に貢献しています。

■ 納涼祭

近隣住民の方々を福井工場に招待しての納涼祭は、毎年恒例の行事として定着しています。当社のOBも多数参加し、社員と一緒に焼きそばや焼き鳥、クレープなどを楽しむ交流の場として、非常に好評をいただいています。2012年からは若手社員が中心となり、新たなイベントとして開催しています。



【3】 環境保護活動の実績

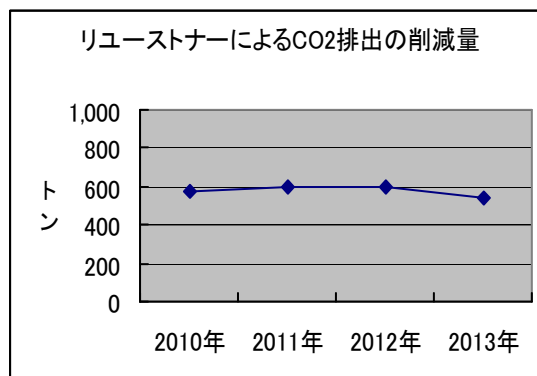
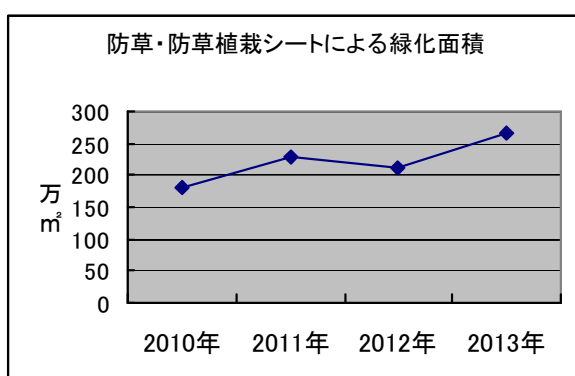
白崎コーポレーションでは限られた資源を有効に活用し、できるかぎり環境に負担をかけない企業活動に全事業所で取り組んでいます。

■ 防草緑化事業による環境保護

草を抑える防草シートや雑草を抑えながら目的の植物を育てる防草植栽シートを施工することにより、公園や道路の法面、太陽光発電施設等の雑草問題を解決して、貴重な緑地資産の価値を高めることができます。また、低コストでの管理が可能になるため、維持にかかるエネルギーを削減しながら社会の景観美化を推進することができます。2013年度の施工面積は267万㎡でした。

■ トナーカートリッジの再生事業による環境保護

トナーカートリッジ本体を再利用するリユーストナーカートリッジは、限りある資源を有効に活用する循環型社会を構築するうえで重要な役割を担っています。リユーストナーカートリッジを使用することにより、本体のプラスチックの原料である原油をカートリッジ1本あたり2.5リットル削減できるという効果があります。また、リユーストナーカートリッジは本体のプラスチックの製造や廃棄処理におけるCO₂の排出量の削減にもつながるため、1本あたり2.6キロのCO₂が削減できるという効果があります。2013年度は540トンの排出量削減につながりました。



■ 廃棄物のリサイクル

工場の生産工程で投入される材料や資材のロスを低減する、コピー用紙の再利用を行うなど、社内での省資源に努めています。また、発生したトナーカートリッジ等の廃棄物はプラスチックの原料や金属資源として、梱包材等に使用されていたプラスチックの廃棄物は梱包用ラップの原料としてリサイクルすることにより、資源の有効活用を行うと同時に最終処分量の削減に努めています。

■ 遮熱塗装による工場の省エネ

更なる省エネルギーを目指して、工場の屋根に遮熱塗料の塗装をおこないました。この遮熱塗料は太陽光を反射し、熱を放射する働きがあるため、工場内の室温を下げるという効果があります。この効果によって今までよりも夏場の工場内のエアコンの使用を抑えて、消費する電力を削減することが出来ました。



会社概要

株式会社白崎コーポレーション 設立 : 1955年7月2日 資本金 : 9,800万円 代表者 : 代表取締役社長 白崎 弘隆 従業員数: 122名(男71名、女51名) 事業内容: 防草植栽シート、その他緑化用品資材の企画・販売 トナーカートリッジ、インクリボン、その他事務用消耗品(OAサプライ品)の販売	
本社・工場	〒916-0076 福井県鯖江市石生谷町11-23 TEL: 0778-62-2200(代表) FAX: 0778-62-3336(代表)
東京支店	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-9-7 富久第2ビル TEL: 03-3667-9881(サプライビジネス事業部直通) TEL: 03-6892-4400(グリーンナップ事業部直通) FAX: 03-3667-9880(共通)
西日本営業所	〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通3-90-1 尼崎K. Rビルディング TEL: 06-6430-1711(サプライビジネス事業部直通) TEL: 06-6430-1713(グリーンナップ事業部直通) FAX: 06-6430-1715(共通)
九州営業所	〒812-0894 福岡県福岡市博多区豊1-6-25 TEL: 092-473-1430(サプライビジネス事業部直通) TEL: 092-473-1452(グリーンナップ事業部直通) FAX: 092-473-1436(共通)
福井物流センター	〒915-0801 福井県越前市家久町27-1-1 TEL: 0778-21-8500 FAX: 0778-21-8502



沿革

2012年	済南古菱納普商貿有限公司 設立
2011年	株式会社白崎ホールディングス、株式会社白崎グリーンナップ 株式会社白崎インターナショナルを株式会社白崎コーポレーションに合併
2004年	ISO9001全事業所認証取得
2003年	株式会社白崎グリーンナップ 設立
2001年	ISO14001全事業所認証取得
2000年	福井県経営品質奨励賞を受賞
1996年	防草緑化事業への参入、トナーカートリッジ再生事業への参入
1994年	白崎テープ株式会社と株式会社羽田が合併 株式会社白崎コーポレーションに称号変更、鯖江市石生谷町に本社設立
1955年	白崎テープ工業株式会社設立
1949年	個人創業

**We work towards
people living in harmony
with environment.**

みんな
自然と人間がいっしょに幸せになる仕事

